

2026年6月19日

報道関係者 各位

## 群馬大学医学部附属病院循環器内科が県内初となる「腎デナベーション治療」を導入

～ 多剤併用でも下がらない治療抵抗性高血圧に対し、  
一生続く「服薬負担の軽減」を目指す新たなカテーテル治療を開始 ～

群馬大学医学部附属病院（群馬県前橋市）は、日本腎デナベーション協議会（日本高血圧学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本循環器学会で構成）より、群馬県内初となる「腎デナベーション治療実施施設認定」を2026年6月10日に取得し、実臨床における治療を開始することをお知らせいたします。



図：腎デナベーション治療のイメージ（提供：医療機器メーカー メドトロニック）

腎動脈の内側に入れたカテーテルから高周波などを照射し、血管の周りにある過剰な交感神経の働きを焼灼する。

### 1. 本件のポイント

- **群馬県初の施設認定取得**：群馬県内で初となる「腎デナベーション治療実施施設認定」を取得。県内における高血圧治療の拠点としての体制を確立。
- **降圧薬の服薬負担を軽減する可能性**：他剤併用の降圧薬服用患者さんに対して、服薬負担を軽減する可能性がある、2026年3月に保険適用となったカテーテル治療。従来の薬物療法に頼り切らない新しい選択肢。
- **「治療抵抗性高血圧」に対する新たなアプローチ**：3種類以上の降圧薬を最大量服用しても目標血圧まで下がらない、治療が極めて困難だった患者に対する、体への負担が少ない治療法の提供。

## 2. 本件の概要

### ●背景

わが国において約 4,300 万人が罹患していると推計される高血圧は、様々な心臓病・心不全や脳卒中、慢性腎臓病(以下「CKD」)などを引き起こす大きな要因となっています。しかし、生活習慣の改善や複数の降圧薬を併用しても、目標血圧までコントロールできているのは全体の約 25%にすぎないと言われています。

特に、薬を何種類も服用しているにもかかわらず血圧が十分に下がらない「治療抵抗性高血圧」は、脳・心血管病のリスクが非常に高い状態のまま放置されており、医療現場において長年の課題となっていました。また、高血圧患者さんは、収縮期血圧 2mmHg 程度低下するだけでも、心筋梗塞や脳卒中などの罹患率が 5－6%程度下がることが知られており、この面からも本治療は期待されています。

### ●治療内容

腎デナベーション治療（RDN）は、足の付け根の動脈などから細いカテーテルを挿入し、血管の中から腎動脈の周囲を走る「交感神経」に高周波（ラジオ波）や超音波を照射する治療法です。血圧を上昇させる原因となる交感神経の過剰な働きを適切に抑制します。

外科的な大手術ではなく、局所麻酔下で行われる低侵襲な手術であり、傷口も非常に小さいため、体への負担が少なく、入院期間も短期間で済みます。

対象となるのは、利尿薬を含めた 3 種類以上の薬を最大量服用しても血圧が十分に下がらない「治療抵抗性高血圧」の患者さんです。また、安全なカテーテル治療が実施可能か、事前の検査で腎臓の機能や血管の形を確認した上で総合的に判断します。

### ●期待される効果

群馬大学医学部附属病院は、群馬県内唯一の「腎デナベーション治療実施施設」として、安全性を最優先にした体制のもと、実臨床での治療を本格的に開始いたします。本治療の導入により、主に以下の 3 つの効果期待されています。

#### (1) 服薬負担（多剤併用）の軽減の可能性

高血圧治療は一度始めると生涯にわたり毎日薬を飲み続ける必要があり、「治療抵抗性高血圧」の方の中には、毎日何種類もの降圧薬を服用している方も少なくありません。この治療によって血圧が安定すれば、服用する薬の数や量を減らせる可能性があります。

#### (2) 24 時間安定した降圧による「飲み忘れ・効果切れ」リスクの解消

内服薬で起こりやすい「薬の飲み忘れ」や「効果が切れる時間帯」の血圧上昇リスクに対し、本治療は交感神経の働きを直接コントロールするため、夜間や早朝を含めた 24 時間にわたり、長期的かつ安定した降圧効果が期待できます。

#### (3) 脳卒中や心不全などの重大な合併症予防

多剤併用でも血圧が下がりきらない状態は、脳卒中や心不全、心筋梗塞、CKD といった命に関わる合併症のリスクと隣り合わせです。適切に血圧をコントロールすることで、これら深刻な疾患の発症・進行を予防します。

#### ●今後の展望

当院では、地域の医療機関との緊密な紹介・逆紹介の連携をさらに強化し、長年高血圧のコントロールに悩まされてきた群馬県内および近隣地域の患者さんへ、新たな治療の選択肢を安全かつ迅速に届け、本県健康寿命延伸に資する覚悟でまいります。

### 3. 関連リンク

群馬大学医学部附属病院 循環器内科

[https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/?page\\_id=10391](https://hospital.med.gunma-u.ac.jp/?page_id=10391)

群馬大学大学院医学系研究科内科学講座 循環器内科学

<https://gucvmed.med.gunma-u.ac.jp/>

#### 【本件に関するお問合せ先】

群馬大学医学部附属病院 循環器内科 病院講師 長坂 崇司（ながさか たかし）

#### 【取材に関するお問合せ先】

群馬大学昭和地区事務部総務課企画・広報係

TEL : 027-220-7895 FAX : 027-220-7720

E-MAIL : m-koho@ml.gunma-u.ac.jp